SONY 3-042-920-14 (1)

ステレオカセットコーダー

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでもみられるところに必ず保管してください。

TCS-100

品 名 カセットコーダー
型 名 TCS-100
保証書 T11-1001A-4

ここに保証書が入ります

Complete the film by inserting the warranty at this position.

在此處插入保證書完成菲林。

在此位置插入保证书以完成胶片。

安全のために

⚠警告

- 乾電池はコイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しないでください。乾電池の⊕と⊖が金属でつながるとショートし、発熱することがあります。

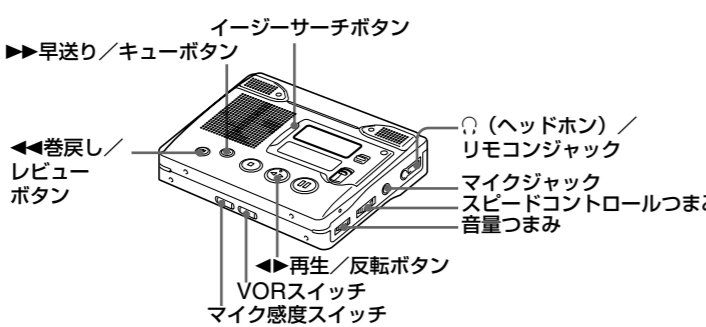
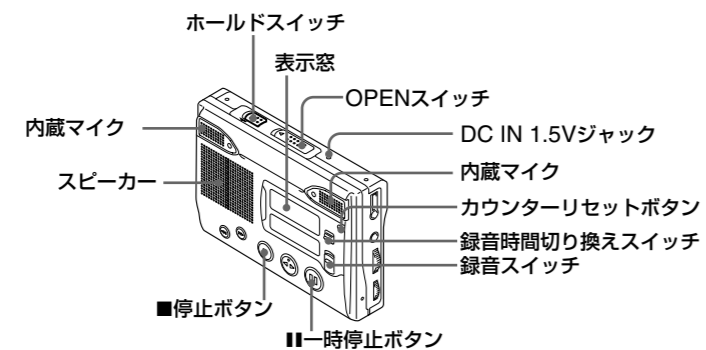
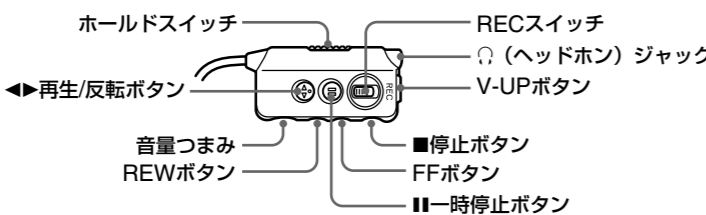
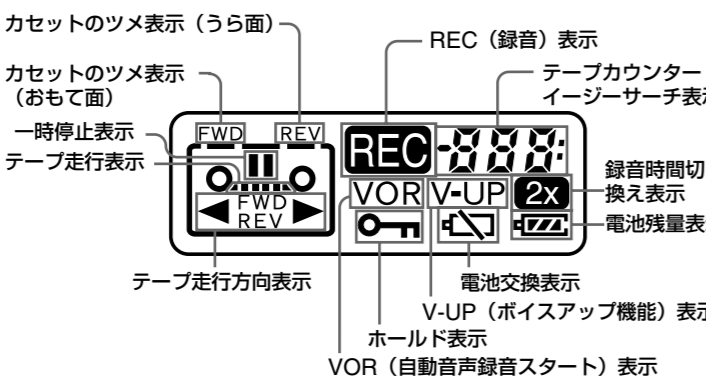
ご注意

- 録りなおしのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- カセットコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。

主な特長

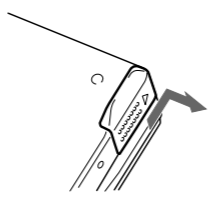
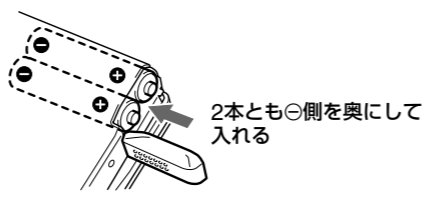
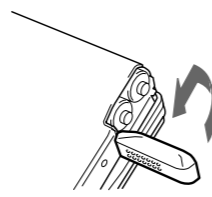
- テープ速度を半分にしてテープを2倍の時間使える**録音時間2倍モード搭載** *。
- 発言者の声を明瞭にとらえるBoundary（バウンダリー） effect（エフェクト）収音方式の**ステレオフラットマイク内蔵**。
- 会議録音等で発言者の声をより聞き取りやすくするVOICE UP **機能**。
- ワンタッチで聞きたいところが探せる**イージーサーチ機能**。
- 録音状況に応じてマイクの感度を切り換えることができる**マイク感度切り換えスイッチ**。
- テープカウンター、電池残量、テープの走行方向等を表示する**液晶ディスプレイ**。
- 一定の強さ以上の音声を検知して自動的に録音が始まり、それ以下の音声になるとテープが止まるVOR**（自動音声録音スタート）機能**。
- **録再オートリバース**

* 本機の2倍モード(2.4 cm/s)で録音したテープは2倍モードのないテープレコーダーでは正しく再生できません。

各部のなまえ

リモコン

表示窓

準備する

ここでは乾電池での使いかたを説明します。コンセントでの使いかたは、「電源について」をご覧ください。

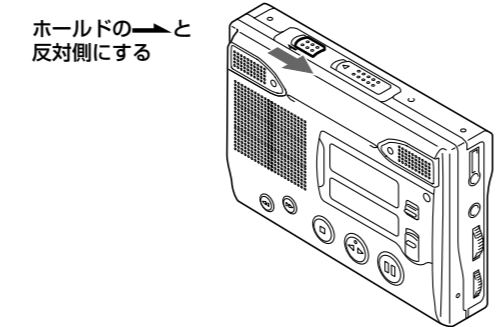
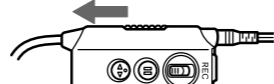
1 乾電池を入れる

①電源ぶたを矢印の方向へずらして開ける

②単4形乾電池を入れる

③電池ぶたを矢印の方向へ押し下げ、ずらして閉める

乾電池は別売りのソニーアルカリ乾電池のご使用をおすすめします。

ご注意

新しい乾電池と使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。

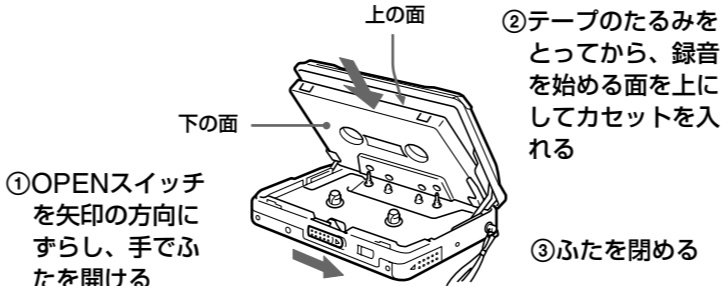
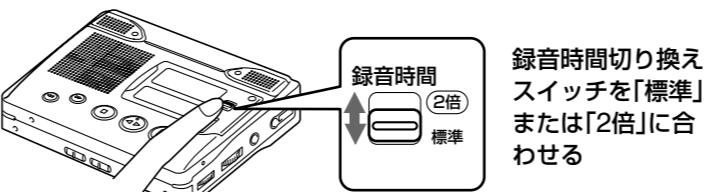
2 ホールド（誤操作を防ぐ）機能を解除する

本体のボタンが働くようになります。

リモコンで使うときは

リモコンのボタンが働くようになります。

録音する

内蔵マイクですぐにステレオ録音できます。

録音にはノーマルテープ(TYPE I)をお使いください。ハイポジション(TYPE II)、メタル(TYPE IV)では正しく録音できないことがあります。

1 カセットを入れる

2 録音時間を選ぶ

標準(4.8 cm/s)：通常の録音をするとき。
「2倍」のときより良い音で録音できます。

2倍(2.4 cm/s)：テープ速度を半分にして2倍の時間録音をするとき。
会議、口述、メモ録音などに適しています。音楽の録音にはおすすめできません。
(60分テープを使うと、両面で120分間の録音ができます)

3 VOR（自動音声録音スタート）機能を「切」にする

ここでは通常の録音のしかたを説明します。VOR機能は「切」にしておいてください。VOR機能を使った録音については、「録音の便利な機能を使う」をご覧ください。

4 マイク感度を選ぶ

マイク感度切り換えスイッチを「標準」または「口述」に合わせる。

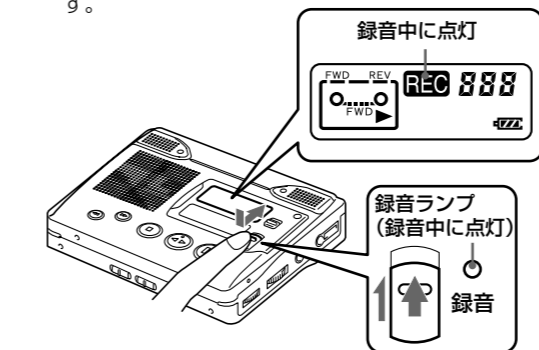
録音の状態	マイク感度切り換えスイッチ
遠くの音や小さい音を録音する（例：会議を録音するとき）	標準
近くの音や大きい音を録音する（例：マイクを口元に近づけて録音するとき）	口述

5 録音する

おもて面（FWD）から録音が始まり、うら面（REV）も続けて録音します（オートリバース）。

うら面（REV）が終わると自動的に停止します。

録音スイッチを中央のボタンを押しながら矢印の方向にずらす。

表示窓に「REC」が点灯し、録音スイッチは元の位置に戻ります。

録音ランプは録音する音の大きさによって明るさが変わります。

カセットのツメが折れていないことを確認してください。折れている場合は「ご使用上のご注意　大切な録音を守るには」をご覧ください。

操作	押すボタン、ずらすスイッチ
録音を止める	■
一時停止する	❚❚を押す。 表示窓に「❚❚」が点灯し、テープカウンターが点滅します。
一時停止を解除する	❚❚を押す。表示窓の「❚❚」が消灯します。
カセットを取り出す	■を押してから、OPENスイッチを矢印の方向にずらす。

ご注意

- カセットを取り出すときは、動作音が止まったことを確認してから行ってください。
- マイクジャックに外部マイクを差し込むと内蔵マイクは働きません。

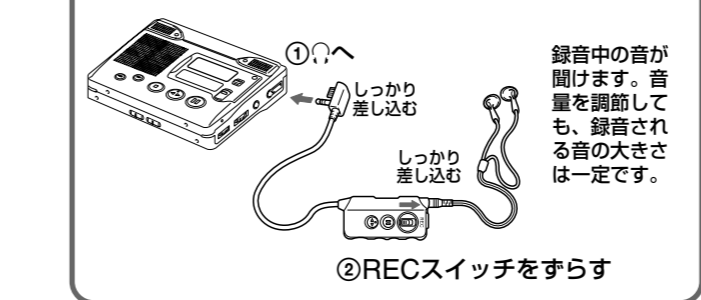
停止中にふたを開けるとテープ走行方向は自動的におもて面（FWD）になります。

一度ふたを開けてから再び操作すると、必ずおもて面（FWD）を録音します。

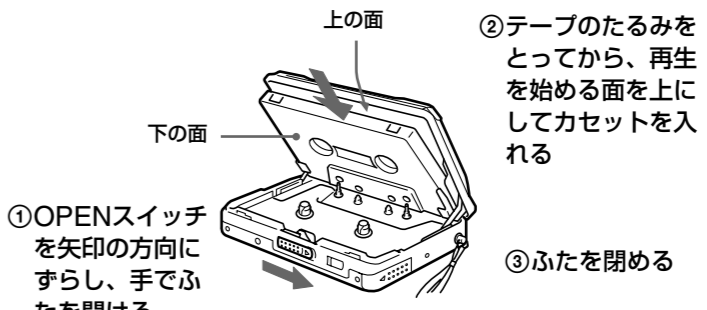
録音中の音を聞くには

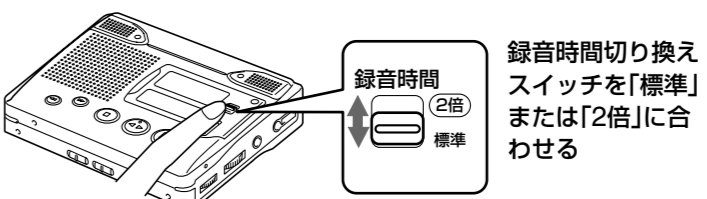
付属のステレオヘッドホンを(ヘッドホン)／リモコンジャックにつなぎます。

モニター音は音量つまみで調節できます。録音される音の大きさは一定です。

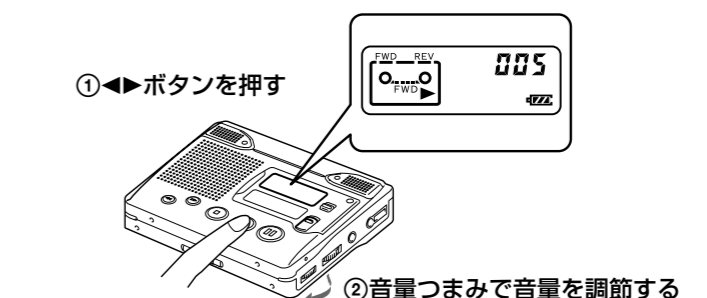
リモコンでも操作できます

テープを聞く

ノーマル、ハイポジション、メタルのテープを自動的に判別し、再生します（オートテープセレクター機能）。

1 カセットを入れる

2 「標準」または「2倍」を選ぶ

録音時間切り換えスイッチを、録音したときと同じ位置に合わせます。市販の録音済みテープを再生するときは「標準」を選んでください。

3 再生する

おもて面（FWD）から再生が始まり、うら面（REV）も続けて再生します（オートリバース）。

うら面（REV）が終わると自動的に停止します。

テープ速度がおかしいときは、録音時間切り換えスイッチおよびスピードコントロールつまみを確認してください。

操作	押すボタン、ずらすスイッチ
テープを止める	■
一時停止する	❚❚ 表示窓に「❚❚」が点灯し、テープカウンターが点滅します。
一時停止を解除する*	❚❚または◀▶を押す。
早送りする**	停止中に▶▶を押す。 (リモコンではFF)
巻き戻す**	停止中に◀◀を押す。 (リモコンではREW)
音を聞きながら早送りする(キュー)	再生中に▶▶を押し続ける。 (リモコンではFF)
音を聞きながら巻き戻す(レビュー)	再生中に◀◀を押し続ける。 (リモコンではREW)
再生中に再生面を換える	◀▶
停止中に再生面を換える	■を2秒以上押す。
カセットを取り出す	■を押してからOPENスイッチを矢印の方向にずらす。

* 一時停止は■ボタンを押した場合にも自動的に解除されます(ストップポーズリリース機能)。

** テープの終わりで自動的に止まり、電源が切れます(フルオートシャットオフ機能)。

ご注意

カセットを取り出すときは、動作音が止まったことを確認してから行ってください。

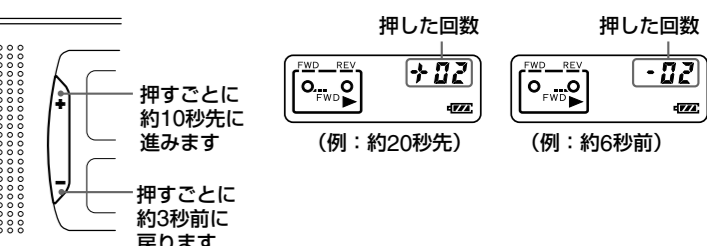
停止中にふたを開けるとテープ走行方向は自動的におもて面(FWD)になります

一度ふたを開けてから再び操作すると、必ずおもて面(FWD)を再生します。

聞きたいところをすばやく探すには(イージーサーチ機能)

再生中または停止中にイージーサーチボタンを押す回数によって、聞きたいところまで巻き戻しまたは早送りをして再生します。

－ボタンは1回押すごとに約3秒前、＋ボタンは1回押すごとに約10秒先を再生します。－または＋ボタンは最大20回（約60秒前または約200秒先）まで押すことができます。（押し続けても表示の数字は変わります。）

会議録音などで、聞きたいところをすばやく探すのに便利です。

ご注意

- 録音中にイージーサーチボタンを押すと、録音が止まり、押した回数分だけ早送り/巻き戻ししたのち、再生が始まります。
- イージーサーチ中にテープの終わりまたは始まりになると自動的に止まります。

リモコンでも操作できます

録音の便利な機能を使う

録音する面を選ぶ

両面を続けて録音する

1 録音を始める面をふた側にしてカセットを入れます。

2 テープ走行表示が◀REVになっているときは、■停止ボタンを2秒以上押して表示をFWD▶に換えてから録音します。
おもて面の録音が終わると、自動的にうら面の録音が始まります。おもて面からうら面に切り換わる間、数秒間録音が途切れます。うら面の録音が終わると、自動的に停止します。

片面だけを録音する

1 録音をする面を本体側にしてカセットを入れます。

2 テープ走行表示がFWD▶になっているときは■停止ボタンを2秒以上押して表示を◀REVに換えてから録音します。
録音はうら面から始まります。うら面の録音が終わると、自動的に停止します。

ご注意

停止中にふたを開けるとテープ走行方向は自動的におもて面になります。

カセットのツメ表示について

ツメが折れているとツメの表示が消え、その面の録音はできません。

ツメが折れているときに録音スイッチをずらすとツメの表示が点滅し、録音できません。

音がしたとき自動的に録音を始める（VOR機能）

VORスイッチを「入」に切り換えておきます。
本機の録音スイッチを中央のボタンを押しながら矢印の方向にずらすと、ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると止まります。録音の途中でテープを止める手間がはぶけるので口述録音するときに便利です。また、空録音の部分がなくなり、テープが有効に使えます。

ご注意

- VOR機能は周囲の環境や使用条件に左右されます。状況に合わせてマイク感度切り換えスイッチを「標準」または「口述」にしてください。VORスイッチを操作しても思い通りに録音できないときは、VORスイッチを「切」にしてください。
- 音を感じてから録音が始まるので、言葉の初めの部分は録音されないことがあります。大切な録音のときは、VORスイッチを「切」にしてください。

後追い録音をする

再生中に録音スイッチ（リモコンではRECスイッチ）を矢印の方向にずらすとそこから録音状態になります。録音されたものの一部分を修正したいときなどに便利です。

録音したものをすぐに聞く

録音中にイージーサーチ+/－ボタンを押すと、録音が止まり、押した回数分だけ早送り/巻き戻ししたのち、再生が始まります。（詳しくは表面「聞きたいところをすばやく探すには（イージーサーチ機能）」参照。）
また、録音中に早送り/キューまたは巻戻し/レビューボタンで早送り/巻戻しをし、手を離してそこから再生を始めることもできます。

外部マイクや他の機器から録音する

状況に合わせてVOR機能の入/切とマイク感度を選んでから録音を始めます。

ご注意 録音する前に

- 接続コード類のプラグはしっかり差し込んでください。
- 接続や音量調節の失敗を防ぐため、本番前に試し録音をしてください。
- 下の例はソニー製品の場合です。他社製品との接続がうまくいかないときは、その製品の説明書をご覧ください。
- マイクジャックにプラグをしっかり差し込むと内蔵マイクは自動的に切れ、外部マイクや接続機器の音を録音します。

別売りの外部マイクで録音する

他の機器から録音する

他の機器へ録音する

再生の便利な機能を使う

再生速度を調節する

本体のスピードコントロールつまみを次のように調節してください。

再生速度	つまみの位置
ゆっくり再生する	遅い
通常の速度で再生する	中央
速く再生する	速い

再生音を強調する（ボイスアップ機能）

リモコンのV-UPボタンを押すと、本体の表示窓にV-UP表示が点灯し、左右の音が強調されることにより、会議録音などでの発言者のそれぞれの声がより聞き取りやすくなります。ステレオ録音した音源をヘッドホンで聞くときに有効です。

ご注意

音楽の再生にはおすすめできません。

その他の機能を使う

誤操作を防ぐ（ホールド機能）

ホールドスイッチを矢印の方向にずらして誤動作を防ぎます。本体のホールドスイッチで操作をすると⊶表示が点灯します。
ただし、録音時間切り換えスイッチにはホールド機能は働きません。

テープ走行方向を表示窓で確認する

録音／再生時の表示	
FWD REV FWD▶	おもて面を録音／再生中
FWD REV ◀REV	うら面を録音／再生中

表示は動作が終わると、約1分で消えます。表示させたいときは、■停止ボタンか❚❚一時停止ボタンを押してください。

テープカウンターの見かた

テープのおもて面を走行中は数字が増え、うら面を走行中は数字が減っていきます。カウンターリセットボタンを押すと000に戻ります。

電源について

乾電池を交換する時期

乾電池の残量は電池残量表示でお知らせします。
電池が消耗すると、録音ランプが暗くなり、テープ走行が不安定になったり雑音が多くなったりします。再生/録音中に電池交換表示が点灯したら、乾電池を2本とも新しいものと交換してください。が点灯してしばらくすると、テープが止まり、操作できなくなります。
乾電池は別売りのソニーアルカリ乾電池のご使用をおすすめします。

新しい乾電池で使用時　点灯
↓
乾電池が消耗してくると　1つずつ消える
↓
↓
乾電池を交換してください　点灯

ご注意

- 電池を交換した後は、一度動作させるまで、などの表示は出ません。
- 消耗した電池(特にマンガン電池)に交換すると、表示窓は点灯しても、表示が点灯しない場合があります。正常に動作しない場合は、新しい乾電池と交換してください。
- 早送り(キュー)/巻き戻し(レビュー)中に電池交換表示が点灯することがありますが、正常に動かないときのみ、電池を交換してください。
- 再生中に音量を上げたときなどに電池残量表示が音に応じて一時的にちらつくことがあります。
- テープの動きはじめやテープの終わりで、電池交換表示が瞬間的に点灯することがあります。表示がすぐに消えた場合は、乾電池を交換する必要がありません。

乾電池の持続時間　（JEITA*）

使用電池	録音時	再生時
ソニーアルカリ乾電池LR03(SG)使用時	約9時間	約15時間
ソニーマンガン乾電池R03(SB)使用時	約3時間	約5時間

* JEITA（電子情報技術産業協会）の規格による測定値です。（ソニーHFシリーズカセットテープ使用、音量7分目程度でミュージックテープを再生した場合。）

ご注意

電池の持続時間は、使用条件によって短くなる場合があります。

コンセントにつないで使う

1 AC パワーアダプター AC-E15L または AC-E15A（別売り）を DC IN 1.5V ジャックにつなぎます。

2 AC パワーアダプターをコンセントにつなぎます。

ご注意

- この製品には、別売りのACパワーアダプターAC-E15L/AC-E15A（極性統一形プラグ•JEITA規格）をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。

- プラグを抜き差しすると設定が変わることがあります。また、動作中にプラグを抜き差しするとテープが停止したり設定が変わることがあります。その場合には、設定をもう一度確認してください。

お手入れ

よい音でテープを聞くために

10時間程度使ったら、別売りのクリーニングカセット（C-1KD）でヘッド、ピンチローラーをきれいにしてください。

本体表面が汚れたときは

水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコールは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

故障かな？

修理に出す前にもう一度お調べください。ご不明な点があるときはソニーの相談窓口へお問い合わせください。

症状	原因／処置
カセットが入らない。 カセットぶたが閉まらない。	•カセットの向きが正しくない。
録音できない。	•カセットが入っていない。 •カセットのツメが折れている。→録音内容を消してもよい場合は穴をふさぐ。 •乾電池が消耗している。→2本とも新しいソニーアルカリ乾電池と交換する。 •録音/再生ヘッドが汚れている。→クリーニングする。
再生できない	•うら面の状態でテープが終わりまで巻き取られている。→◀▶ボタンを押しておもて面にする。 •録音/再生ヘッドが汚れている。→クリーニングする。 •乾電池が消耗している。→2本とも新しいソニーアルカリ乾電池と交換する。
操作ボタンを押しても動作しない。	•乾電池の⊕と⊖の向きが正しくない。→向きを確認して入れなおす。 •乾電池が消耗している。→2本とも新しいソニーアルカリ乾電池と交換する。 •ホールドスイッチが矢印の方向へずらされている。 •ACパワーアダプターが正しく接続されていない。 •電源に差し込んでいないACパワーアダプターやカーバッテリーコードを本体につないでいる。
「ピピピピ」とエラー音が鳴り、操作できない。	•乾電池が消耗している。→2本とも新しいソニーアルカリ乾電池と交換する。
スピーカーから音が出ない。	•ヘッドホンが差し込まれている。 •音量が最小になっている。
再生音がおかしい。 再生速度が速すぎたり遅すぎたりする。	•スピードコントロールつまみが中央以外の位置にある。 •録音時間切り換えスイッチの位置が、録音時と違う位置にある。→反対側に切り換える。 •乾電池が消耗している。→2本とも新しいソニーアルカリ乾電池と交換する。
音が小さい。 音質がよくない。 雑音が入る。	•音量が絞られている。 •乾電池が消耗している。→2本とも新しいソニーアルカリ乾電池と交換する。 •録音/再生ヘッドやピンチローラーが汚れている。→クリーニングする。 •カセットをスピーカーの上に直接置いていた。(直接置くと音質が劣化することがあります。) •録音のとき、ハイポジション、メタルのテープを使った。 •ヘッドホンまたはリモコンのプラグが汚れている。
録音が途中で止まる。	•VORが働いている。VORを使用しないときはスイッチを「切」にする。 •VOR使用時にマイク感度の設定が不適切。
前の音が完全には消えない。	•消去ヘッドが汚れている。→クリーニングする。 •ハイポジション、メタルのテープを使っている。
早送りまたは巻き戻し中、途中で止まる。また動かない。早送りや巻き戻しができない。	•乾電池が消耗している。→2本とも新しいソニーアルカリ乾電池と交換する。

使用上のご注意

録音について

- 録音には必ずノーマルテープ（TYPE I）をお使いください。（ハイポジション/メタルテープでは正しく録音されません。）
- マイクジャックに外部マイクや接続コードが差し込まれていると、内蔵マイクを使っての録音はできません。
- 内臓マイクを強く押さないでください。マイクが変形し、雑音の原因となります。
- 録音中、マイクを電灯線や蛍光灯に近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中はスピーカーから音は出ません。付属のヘッドホンで聞いてください。
- 録音中の音をヘッドホンで聞いているとき、音量を上げすぎるとヘッドホンの音をマイクが拾い、ピーという音が生じることがあります（ハウリング現象）。この場合は音量を下げてください。

大切な録音を守るには

カセットのツメを折ると、録音スイッチをずらしても録音できなくなるので誤って消してしまうミスが防げます（表示窓で確認できます）。ツメを折っても穴をふさぐと再び録音できます。

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- リモコンやヘッドホンのコードを強く引っぱらないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
  - －温度が非常に高いところ（60℃以上）。
  - －直射日光のあたる場所や暖房機器の近く。
  - －窓を閉めきった自動車内（特に夏季）。
  - －風呂場など湿気の多いところ。
  - －磁石、スピーカー、テレビなど磁気を帯びたものの近く。
  - －ほこりの多いところ。
- 温度が高いところ（40℃以上）や低いところ（0℃以下）では液晶表示が見にくくなったり、表示の変わりかたがゆっくりになることがあります。常温になればもとに戻ります。
- 長時間テープについて
  90分をこえるテープは非常に薄く伸びやすいので、こきざみな走行、停止、早送り、巻き戻しなどを繰り返さないでください。テープが機械に巻き込まれる場合があります。
- エンドレスカセットテープについて
  エンドレスカセットテープはお使いにならないでください。機械に巻き込まれる場合があります。
- 付属のヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはソニーの相談窓口にご相談ください。

ヘッドホンについて

まわりの人のことを考えて
付属のヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外に漏れます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気をつけましょう。
雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

リモコンについて

付属のリモコンは本機専用です。また、他機種に付属のリモコンで本機の操作はできません。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

キャッシュカードや定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけると、マグネットの影響で磁気が変化してカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

主な仕様

トラック方式	コンパクトカセットステレオ
スピーカー	直径36 mm
テープ速度	4.8 cm/s、2.4 cm/sのスピード切り換え （標準－2倍モード切り換え）
周波数範囲(JEITA*)	TYPE I（ノーマル）カセット 150 Hz～8,000 Hz（録音時間切り換えスイッチ「標準」時）
入力端子	マイク(ステレオミニジャック／プラグインパワー対応)（1） 最小入力レベル　0.4 mV インピーダンス3 kΩ以下のマイク用
出力端子	ヘッドホン(ステレオミニジャック)（1） 負荷インピーダンス　8 Ω～300 Ωのヘッドホン用
実用最大出力(DC時)	スピーカー　70 mW (JEITA) ヘッドホン　3 mW + 3 mW (JEITA 16 Ω)
スピードコントロール可変範囲	約＋20 %～－15 %(録音時間切り換えスイッチ「標準」時)
電源	DC 1.5 V、単4形乾電池2本使用
最大外形寸法	約112 mm×30 mm×78 mm（幅/高さ/奥行き） 最大突起部含む
質量	本体 約190 g ご使用時 約 250 g(アルカリ乾電池2本、カセットテープHF60を含む)
付属品	・ソニーマンガン乾電池(単4形)R03(SB)(2)お試し用** ・リモコン付きヘッドホン(1) ・ハンドストラップ(1) ・キャリングポーチ(1) ・取扱説明書・保証書(1) ・ソニーご相談窓口のご案内(1)
別売りアクセサリー	ACパワーアダプター　AC-E15L、AC-E15A(極性統一形プラグ•JEITA規格) エレクトレットコンデンサーマイクロホン　ECM-719 カーバッテリーコードDCC-E215 接続コードRK-G128、RK-G129、RK-G134 クリーニングカセットC-1KD

*　JEITA(電子情報技術産業協会)規格による測定値です。
** 付属のマンガン乾電池はお試し用です。購入する場合はソニーアルカリ乾電池をおすすめします。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではステレオカセットコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。　http://www.sony.co.jp/support

使い方相談窓口
フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥0120-333-020
携帯電話･PHS･一部のIP電話‥0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥0120-222-330
携帯電話･PHS･一部のIP電話‥0466-31-2531
※取扱説明書･リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「304」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通） 0120-333-389

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1